



島の隠れた名物 クロツラヘラサギ

トリトリデッキ周辺では、鹿児島県内では珍しく、越冬だけでなく**越夏(えっか)**もしています。実は、徳之島の渡来数は、奄美群島では最も多いのご存じですか？この冬は、ここ10年間で最多の7羽が越冬しています。顔の表情は感じづらいのですが、他の鳥に比べて感情が豊かで、特にイチイチチャするカップルには、必ずと言っていいほど、大なり小なりやっかみします。クロツラヘラサギは世界的な希少種で、ひところは3,000羽程度まで減りましたが、現在は5,000羽近くまで増えつつあるようです。春から夏にかけ、主に朝鮮半島の黄海沿岸や、中国の渤海沿岸の無人島で繁殖し、中国や台湾、東南アジアで越冬していましたが、工業用地や養殖池など開発が進んだため、国内にも飛来する数が増えたようです。徳川幕府の歴史書「御実紀」では、鷹狩りで捕られた記録がわずかに残るのみでした。2020年1月の世界一斉個体数調査では、台湾島で全体の57%が越冬し、国内では11%、熊本県が飛びぬけて多く226羽、次いで福岡89羽、佐賀78羽、**鹿児島69羽**、山口31羽、沖縄22羽と続きます。韓国ではヘラサギ類を저어새(チョオセ)と呼び、中国では黒い顔をした中国琵琶(楽器)サギの意、黒臉琵琶(ヘィリエンピーイウ)と呼ばれ、台湾では略して黒琵(ヘィビー)とも呼ばれるそうです。



ヘラサギ(左)は大きめで、眼がつぶら

夏羽の成鳥

1~2歳の若鳥は、翼の先が黒い

餌が捕れない腹いせに、メヒルギに咬みつく



もうじき1歳

これから2歳

食事の邪魔になる後輩に咬みつく

くちばしの感触で餌を探る

イチイチチャしていると、しばしば、やっかみや邪魔が入る



いつもは小さなエビやカニを捕食

グルーミングは警戒のサイン

泳が良いと、ボラなど魚にありつける

クロツラヘラサギとヘラサギ(右端)と一緒に休む



仲の良い先輩たちに嫉妬して咬みつく

普通は、片足立ちで休む

極めてまれに、座って休む

過去、一度だけ鳴いたことが♪

もっと情報が見られる電子版はこちら

まれに、かかとで休む



ちよくちよく、あくびする



コォ〜
コォ〜



※ クロツラヘラサギは成鳥になるまで最低3年かかるので、干潟が気に入ると1年以上滞在することがあります。編集：天城町教育委員会 具志堅亮、山田文彦(資料提供)